

キッズみんなの日記

高原教室
特別号

十月になり、ようやく涼しい日が増えてきました。私の大好きな秋がやってきたなと感じていますが、きつとあつという間にそれも過ぎ去り、私の苦手な冬がやってくることでしょうか。夏が長かった分、秋は短いのだろうと寂しく思っています。

さて、今月号の「キッズみんなの日記」ですが、いつもと趣向を変え、キッズ生ではなく中学生が書いた作文を掲載いたします。この作文は、夏期講習中に開催された「高原教室」最終日に中学生たちが高原教室で感じたことを綴ったものです。今年は中学生のみの参加でしたが、来年は小学生も参加できるようにしたいと考えています。この作文から高原教室の雰囲気や参加することで得られる成長について、キッズ生たちに知ってもらいたいと思います。中学生たちの豊かな表現力も今後の日記に活かしますので、真似できる点があれば、自分の日記にも取り入れてみてくださいね！

優秀作品紹介

★感じたことをストリートに★

協力

ぼくは、この高原教室で協力することの大切さを学べたと思います。

なぜそう思ったのかと言うと、生活する中で、ふとんを敷いたり部屋の片づけをしたりするなど、一人では時間がかかってしまうような作業があったのですが、ふたんあまり話さないような人も、一緒にやって

くれたおかげですぐにできたり、食事の後に、まだ数学の課題が終わってない人に、式の解き方を教えてあげてくれた人がいたりしたからです。また、合宿のイベントで、まだ来ていない人が一人だけいて、イベントが始まるのがおくられてしまったこともあったため、みんな協力しないと、全体のおくれにつながってしまうこと実感しました。

これからはぼくも、誰かと協力して、助けあっていけるようにがんばっていきたいです。

「なぜや「また」を使うことによって、文章を読みやすくまとめていますね！また、文章も具体的に、協力することの大切さがしっかりと伝わってきますよ！

(中一 NS君)

私は、この三日、高原教室を楽しむことができました。

思いやり

テストでは、漢字と英語は一発で合格しましたが、数学は不合格で後悔しました。再テストの前に間違えたところだけ復習しようやく、再テスト四回目で合格しました。

自由時間でお友達と遊んだり、勉強会で夏の課題をしました。二日の夜、となりの部屋でおかしパーティーやいろいろやりました。新しいお友達ができ、うれしかったです。



高原教室の最後の日、「もう、終わりかあ」と思いました。でも、楽しい高原教室



だったので良かったです。この、三日、ちゃんと時間を守り、五分前行動もみんなできました。高原教室はこれで終わりだけど、また、来年、再来年も行きたいです。

(中一 KHさん)

高原教室の楽しそうな様子が伝わってきますね！高原教室の魅力である、新しい友達もできたようで、私も嬉しいです！これから是非参加してくださいね！

冷静になることの大切さ

私はこの高原教室で冷静になることの大切さを学びました。



私は夏の課題テストで数学だけ不合格ばかりでした。友達と遊びたいという気持ちが強くて急いで合格することばかり考えていて、この高原教室の一番の目的である学習にまじめに取り組んでいませんでした。でもテストの直しをしているときに教えてくれたスタッフさんは「どんなに時間をかけてもいいからゆっくり冷静になって考えな。」と言っていました。そして、その次のテストでは私は一度ゆっくり解いた後すべて

(中二 SAさん)

心の葛藤の素直に表現してくれましたね。その気持ち、私もよくわかりますよ。そして、私以外にも共感している塾生が何人もいます。勇気づけて本当に大切ですよ。

共に過ごした仲間

私がこの高原教室で学んだことは、共に過ごす仲間がいたからこそ楽しい、ということだと思います。互いにはげまし合いながら課題をし、



職員全員が合格できました。部屋やロビーでカードゲームをして、声しか知らない人や見かけたことすらないような人と話しました。ゲームを始めて中盤までは気乗りしてこなくても、後半になるにつれて楽しく思えてきたのです。始めは自分のスマホがこいしくても、だんだん頭から離れていって気にならなくなりました。最後の



(中一 SMさん)

数学のテストを合格しただけでなく、勉強に対しての心構えも学べたようです。ね！実りのある高原教室になって良かったです！これからもその心構えを忘れないようにね！

★思い出を表現豊かに★

夜には、たくさん笑いました。班員で数種類のゲームをして、途中からみんなが笑いもろくなつてしまったのです。自分でもこれまで的人生、そんなことはなく、とてもとても不思議でした。この数日で深めた仲をふりだしへと戻さないように思い出し、これからも共に過ごす人との関係を大切にしようと思いました。

(中二 K1さん)

Kさんの素敵な笑顔が目につく。うな、温かい気持ちになる作文です。仲間って、本当に不思議な力を持っていますよね。高原教室で出会った仲間をこれからも大切にね！

準備の大切さ

私が高原教室で学んだことはたくさんあるが、特に準備の大切さを一番学んだと感じている。僕はこの高原教室のために、たくさん勉強してきた。しかし、国語がなかなか合格できず、とても悔しかった。その日の体調が悪いという理由もあったが、やはり準備不足による影響が一番高いだろう。



ゲームでもラスボスをたおすのに弱いそうびではすぐにやられてしまう。たおすためにはとても強いそうびを準備しなければいけない。とてもめんどうだが、準備しなければラスボスは倒せないだろう。来年は五教科にはねあがり、覚える量もたくさんある。今年の反省を生かして次は一発で合格できるようにし、楽しい高原教室にしたい。

(中二 MN君)

その通りです！どんなことでも準備が必要なのです！皆さんもちゃんとこれを頭に入れてください。作文はたとえの表現が面白いですね！皆さんも真似してみましょう！

★ ★ ★ 想いをより具体的に ★ ★ ★

感謝の言葉

「ありがとう」、このたった一つの言葉だけで人は元気になれることを実感した三日間でした。



この高原教室では、

関わる機会があり、先生やスタッフ、初めて話す友達もいました。私は、人見知りと同じ部屋の人と仲良くなれるか不安でした。ですが、たくさん話しかけてくれたおかげで、仲良くなることができました。このように、私にとってもいつも人と関わる機会が多かった高原教室では、たくさん「ありがとう」が飛び交っているように感じました。

「ありがとう」、今回の高原教室でたくさん耳にしたこの言葉は、無条件に人の心をプラスの気持ちにさせる言葉だと思えます。そして、この「ありがとう」を色々な人に伝えていけるような人間になりたいと思いました。

(中三 WMさん)

心が温かくなる作文ですね。「ありがとう」って本当に魔法の言葉だと思えますよ。それを伝えていける人に是非なつてほしいですね！先生も応援しています！

勉強の大切さ

「悔しい！」私はそう思い、泣いた。塾の高原教室の一日目、五教科のテストがあった。スタートの合図で、みんないっせいに始める。合格しないとけないというきんちよう感がある中、私は、理、社、国、英の四教科をなんなくこなしていった。けれど、数学の時引つかつてしまった。前までできていたのに、



三年生の学習の範囲ができなくなつて、焦りがある中、何度も解き直し、追試を受け、夜の十二時までやった。けれど、合格ができない。その時、私は悔しいと思いついに泣いてしまった。次の日の朝、みんなより早く起き、勉強をした。たくさん頑張った。五回目の追試の時、ついに努力が報われた。

私は、この三日間で、勉強をする事の大切さを学んだ。努力なしでは報われない。この経験をもちに、これからある受験に向けて、気持ちをもちと切り替え、頑張りたい。

短文を重ねることにより、焦りや悔しさがより伝わってきます。また、結びの決意に力強さを感じますよー高原教室で学んだことを活かして高校入試を乗り切ってくださいね！

(中三 FHさん)

優しさの距離
高原教室を通して、数え切れない程の皆の優しさに触れ優しさについて考えてみた。

将来



優しさは触れたり感じたりすることができる。しかし、見たり食べたり形に表すこともできない不思議な力だと私は思う。優しさにいつ触れて、その力に助けられるかも分からない。優しさと聞いて良い印象を抱く人が大半だと思う。しかし、優しさに形はないから、たまにとげのようにとがった形をしたり、その人の心によつてどんな力にもなりうる。高原教室を通して優しさについて沢山身近に触れたけれど、実際距離の答えなんて分からないし答えもない。けれども、目に見えないその力は、私が生き続けていく上で糧になると思う。見えない力をどう上手く使い、成長させる

かは自分次第だから慎重に行動して生きていこうと思う。

(中三 SNさん)

「優しさはとがった形もする」、なんてなくわかる気がします。どうやら高原教室で人としてとても大切なことを掴んだようですね。実りある高原教室になつて良かったです！

戦場

私は負けた。一つの大きな目標に向かうための戦いに。戦場は残酷で実力主義の世界だ。知識という武器を使って、次々と問題という敵を倒していく。



今回の高原教室は改めてこれを感じ知らされました。次々とみんなが合格していったたびに心が縮み、次々と不合格のテストが返ってくるたびに心が締め付けられました。ですが、自分には悔しがる資格はないとわかっていたので、とにかく勉強しました。友達はずっと私を待っていました。

受験という大きな戦争の中で生き残るためには、集中力、忍耐力など様々な力が必要です。ですが、一番大切なことは日々精進することです。周りにはみんなゴールに向かって走り続けています。私は今日から、走り続けます。

(中三 YKさん)

受験に対しての危機感、そして決意がひしひしと伝わってくる文章です。「戦場」という題名からもそれを感じます。走り続けることをやめずに、栄冠を勝ち取ってください！

●「キッスみんなの日記」に関するご意見・ご感想は、

mailto:info@kissdai.com または、編集担当▼藤田 n.fujita@kissdai.com まで、ご一丁ごお寄せください。皆様のご意見を参考に、より良い紙面作りに努めて参ります。